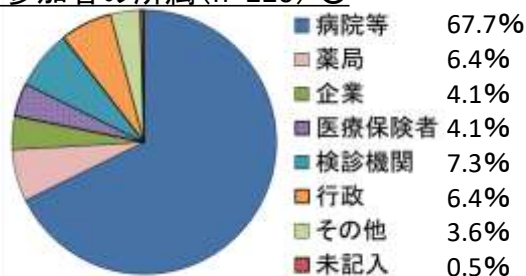


アンケート結果

アンケートへのご協力ありがとうございました。

○参加者の所属(n=220)○



職種は多い順に(准)看護師 42.3%, 薬剤師 9.5%, 行政職員 6.4%, 事務 5.0%, 臨床検査技師 4.1%, その他・未記入 8.4% でした。
「その他」には理学療法士, 栄養士, 保健師, 助産師の方や, 地域で活動されている方などが含まれています。

○肝疾患Coとしての活動状況(n=220)○

◎肝疾患Coとしての活動については, 63.2%の方から活動をしているとの回答をいただきました。

最も活動している方が多かったのは「受検勧奨」で, 次に多いのは「受診勧奨」「知識の普及啓発」でした。
受検勧奨は資材もあり, 内容も比較的シンプルなので, 活動として取り掛かりやすいのかもかもしれません。

そこで, 活動の役に立てばと思い, 県で配布している資材や関連情報の一覧ページを作成しました。



URL ⇒ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kanenshinsei/hepaflier.html>

広島県 肝炎 使える資材一覧 検索


使う場面や制度別に
掲載しています。
ぜひご活用ください。

◎今年、養成講座や継続研修を受けた方に記載いただいた内容をいくつか紹介します。

<活動事例>

- ・検診機関: 受診者の履歴を確認し, 未受診者に声掛け。採血予定のある方は比較的スムーズに受診される。
- ・医療機関: 説明のフローを作り, 統一した。
- ・医療機関: 陽性者の確認、カンファレンス、主治医への報告を行い, 患者に説明するシステムを作っている。
- ・医療機関: 手術等でウイルス検査をして陽性だった場合, 説明や院内の専門医に紹介をしている。
- ・薬局: 服薬指導の時に健康相談を受け, 声掛けをしている。
- ・企業: 健診で肝機能異常が発見された方に受診勧奨し, 受診後も相談を受けて治療や相談窓口, 助成制度などを説明した。

<困っていることなど>

- ・人材育成が大切だと思うが, 協力が得られにくい。
- ・肝疾患Coは自己研鑽の一環と捉えられている。院内での認知度が高くなると活動しやすい。
⇒医療機関の方から, 院内で肝臓週間の啓発活動を行ったところ肝疾患Coの活動の周知にもなったという報告もいただいています。活動の見える化は課題のひとつであり, 解決策を模索しているところです。
- ・肝疾患専門医のいる医療機関リストが欲しい。
⇒「肝炎 指定医療機関 広島」で検索しても専門医療機関一覧のページが見つかりません。
 連携医療機関(かかりつけ医)や薬局は別の一覧があるので, そちらも参考にしてください。
- ・肝疾患Coのバッジが壊れてしまった。
⇒新しい物を送るので, 下記問い合わせ先までご連絡ください。
(在庫状況によりすぐお渡しできない場合もあります)
- ・街頭での啓発活動を行ったことを知らなかった。参加したいので, 声をかけてほしい。
- ・圏域の肝疾患Coで連携して啓発活動等できるとよい。特任Coから積極的に声をかけてほしい。
⇒メーリスやFacebookで研修会や啓発活動のご案内をしていきます。ぜひご参加ください。

□お問い合わせ先□

広島県健康福祉局薬務課肝炎対策グループ Tel:082-513-3078(ダイヤルイン) Fax:082-211-3006

Facebookページを運営しています ⇒⇒

研修会の案内や制度の情報提供などを行っています。
活動事例も紹介するので, ぜひアクセスしてみてください!



『知って、肝炎@広島県』
<https://www.facebook.com/Hiroshima.TeamHEPA>